

## 土佐和紙生産量調査の報告について

---

高知県工業振興課

# 土佐和紙生産量調査内容

## 調査対象

R4年度分 **23事業者**  
 ・手すき **14事業者** (前年±0)  
 ・機械すき **9事業者** (前年-1)

## 調査期間

R5. 4/26～5/26、7/25

## 調査項目

- ・生産実績
- ・出荷先
- ・従事者数
- ・原料 使用量
- ・原料 在庫量
- ・用具の修繕状況 (手すきのみ)

製品名	生産実績(令和4年1月～12月)			原料の状況(令和4年1月～12月)			使用量(kg)			希望量(kg)		
	数量(kg)	生産額(千円)	備考	種類	仕入先*	産地(種類)	黒皮	未晒	白皮	黒皮	未晒	白皮
障子紙				こうぞ	県内	(種類)						
表具用紙					県外	(種類)						
書道用紙					輸入							
手工芸用紙				みつまた	県内							
絵画・版画・水墨画					県外							
紙加工品					輸入							
その他 色紙				がんび	県内							
合計					県外							
					輸入							
				木材バルブ								
				わら								
				竹								
				麻(チョマ)								
				故紙								
				とろろあおい								
				化学糊								

出荷先	出荷実績(令和3年1月～12月)		従事者状況 人			
	数量(kg)	生産額(千円)	人	男	女	計
組合			20歳以下			
問屋( )			21～30歳			
問屋( )			31～40歳			
企業(小売店・関西)			41～50歳			
企業(小売店・東京)			51～60歳			
個人( 全国 )			61～70歳			
個人( )			71～80歳			
個人( )			80歳以上			
個人( )			合計	0	0	0

在庫量の推移			在庫量(kg)			
種類	仕入先*	産地 (種類)	令和3年12月末			買い付け先(農家)さんの状況
			黒皮	未晒	白皮	
こうぞ		(種類)				
みつまた						
がんび						

用具の修繕	可 ( )	不可 ( )
作る頻度が高い紙のサイ		
用具で困っていること		

※仕入先については、①契約農家、②自家栽培、③JA、④原料商、⑤その他 から選択すること。

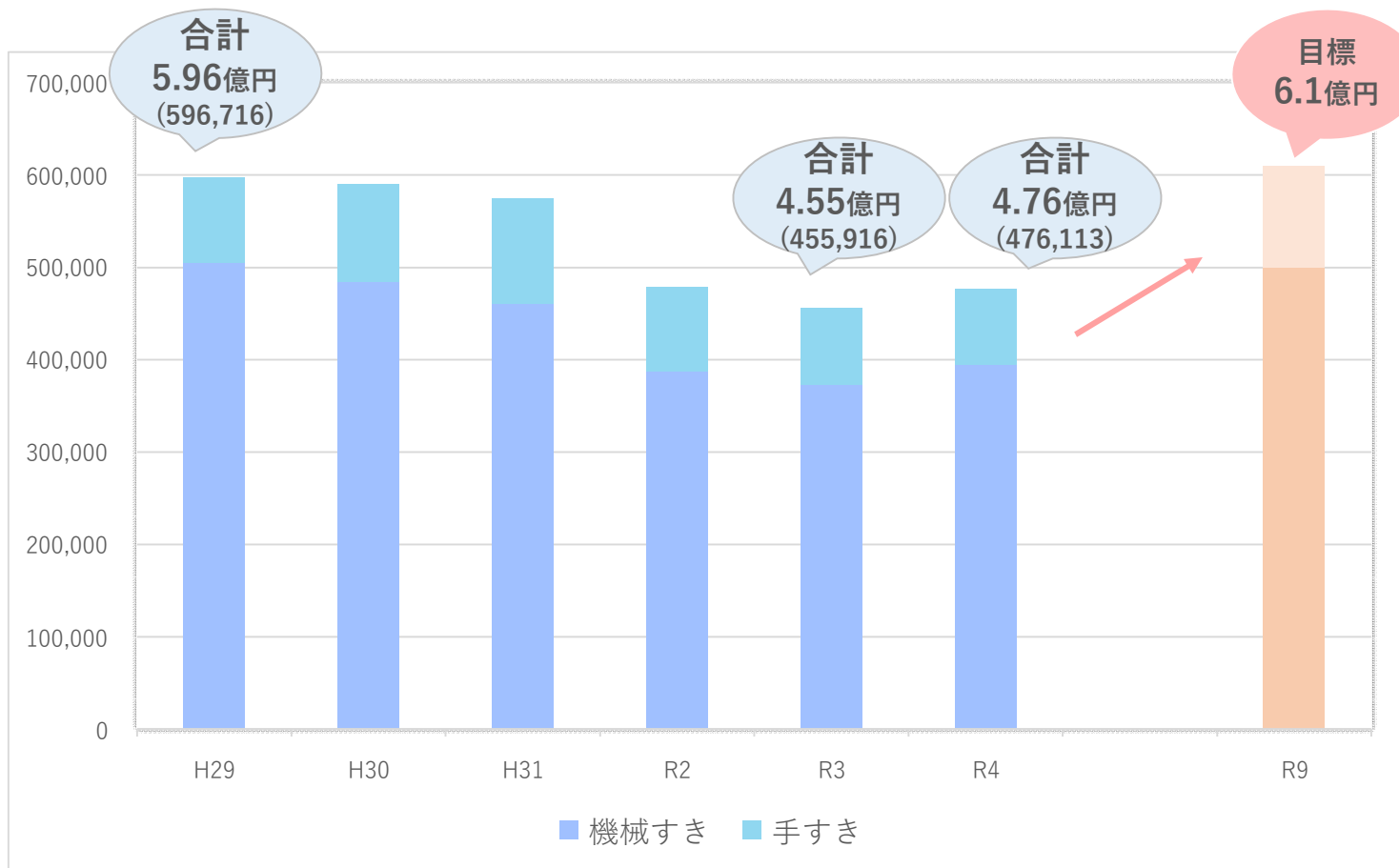
## R5年度ヒアリング結果 (生産量について)

---

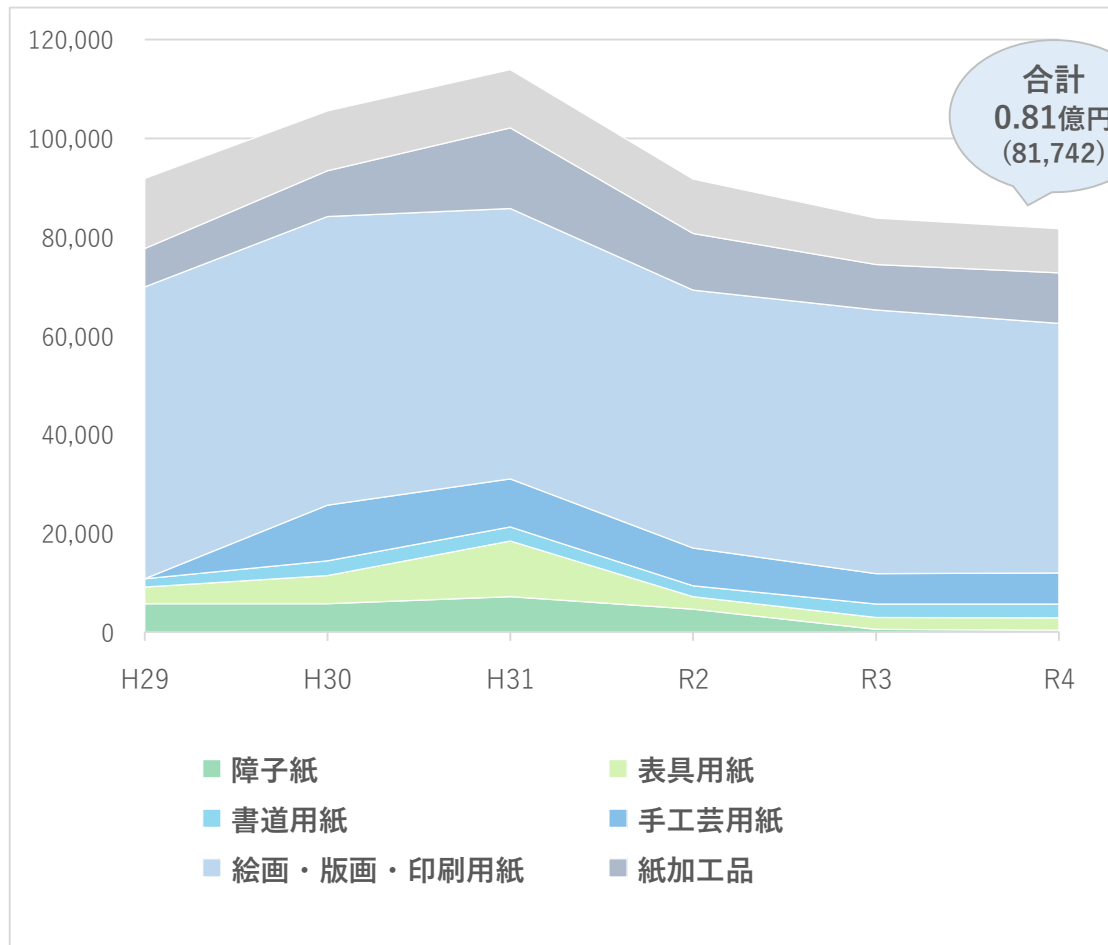
# 土佐和紙生産量調査結果について

単位：千円

	H29	H30	H31	R2	R3	R4		R9 (目標)
機械すき	504,800	484,906	460,383	387,752	372,044	394,371	→	500,000
手すき	91,916	105,585	113,960	91,755	83,872	81,742		110,000



# 手すき和紙生産量内訳



## 構成比

	H30年度	R4年度
障子紙	5.37%	<b>0.40%</b>
表具用紙	5.45%	<b>3.11%</b>
書道用紙	2.79%	<b>3.40%</b>
手工芸用紙	10.70%	<b>7.67%</b>
絵画・版画・印刷用紙	55.39%	<b>61.92%</b>
紙加工品	8.83%	<b>12.53%</b>
その他	11.47%	<b>10.97%</b>

## ▶傾向

障子紙 表具用紙 ↘  
紙加工品 ↗

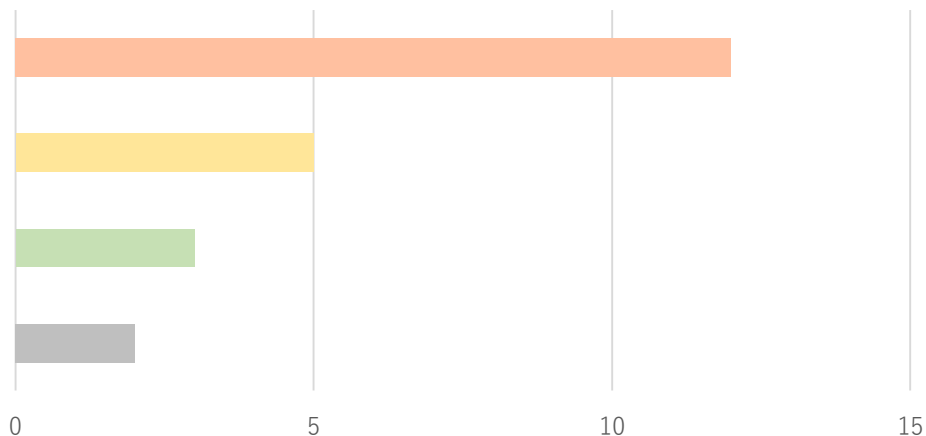
## R5年度ヒアリング結果 (原料について)

---

## その① 土佐楮は積極的に使われていない

{ =意見抜  
粹

土佐楮を積極的に使わない理由



### \*異なる意見も一定あり

\*1 買い取り価格をもっと上げていきたい という意見も

\*2 作業面、仕上がりともに品質の差は感じるという意見も

### 価格が高いから\*1

・価格相場(例)	
土佐楮：50の場合	(聞き取り価格)
タイ産：5~10	・農家取引価格 10貫 3~4万円
中国産：20~30	・原料商取扱価格 // 5~6万円

### 外国産の品質と大きな差を感じない\*2

- ・土佐楮の品質も劣化している (部位の混在)
- ・仕上がった和紙を比べても差がわからない
- ・海外産も質が上がっている (但し、産地が混ざると×)

### 手に入りにくいから

- ・原料商の取扱い量も減っており、安定した確保が難しい
- ・国産楮はいつ入手できるかわからないので、一定在庫しておきたい

### その他

- ・文化財の修復紙のランクによっては国産楮指定もあるが  
⇒中国産も可という場合も多く、一定仕事が請けれる
- ・楮農家の実入りの少なさから、ビジネス的にも国産楮の利用を増やすことに抵抗感がある。

### ▶結果

「国産楮指定の注文がなければ使わない」

### 海外産と大きな差がない 意見

- ・土佐楮も以前より品質が低下。  
楮は部位（上・中・下）で適した用途や歩留まりが違う。  
以前は部位毎にまとめて入手できた  
⇒近年は収穫量の低さからか、部位が混在するのも要因。
- ・タイ楮＝タイ生産ではなく、タイ周辺国の楮がロットに混ざることが品質が安定しない要因に（純粋タイ産だけであれば、品質はそこまで悪くない）
- ・一時期、海外産楮を国産楮並の品質に処理できるシステムの特許申請を実施（取得には至らず）その際、国産・海外産の多くの種類の楮を調べ、必ずしも国産の品質が優れている訳ではない、というデータを蓄積。

### 品質面で土佐楮を選ぶ 意見

- ・海外楮は、品質が安定しないこともあり、原料処理に時間がかかる。
- ・昨今は注文1ロットの量が減ってきたこともあり、原料処理に時間のかかる外国産の楮を使うことは効率が悪くなってきた。  
斑点が残るなど、仕上がりの質も高くない。
- ・海外産はちり取りが手間。  
→知り合いの福祉作業所にちり取りの作業依頼を相談したことあり。ただ、集中力やコツも要する作業なので、障がいのある方には難しいとなった。

### ▶考察

- ①紙として"仕上がった時の品質"と、ちり取り（のしやすさ）等も含めた"原料としての品質"についての意見がある？
- ②いずれの意見にも、枕言葉に「価格が高い…」が含まれるのでは？



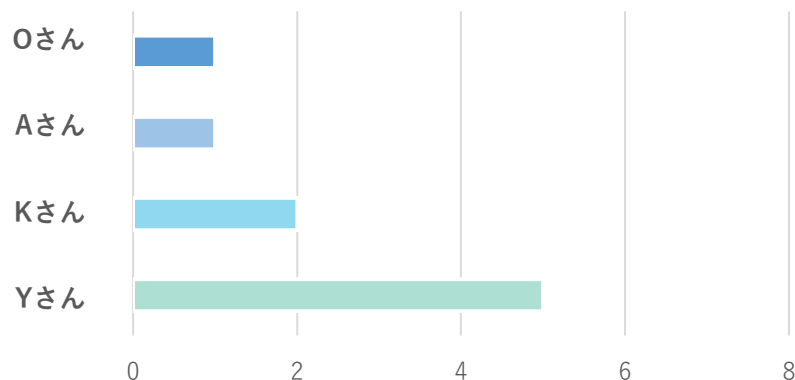
## R5年度ヒアリング結果 (用具について)

---

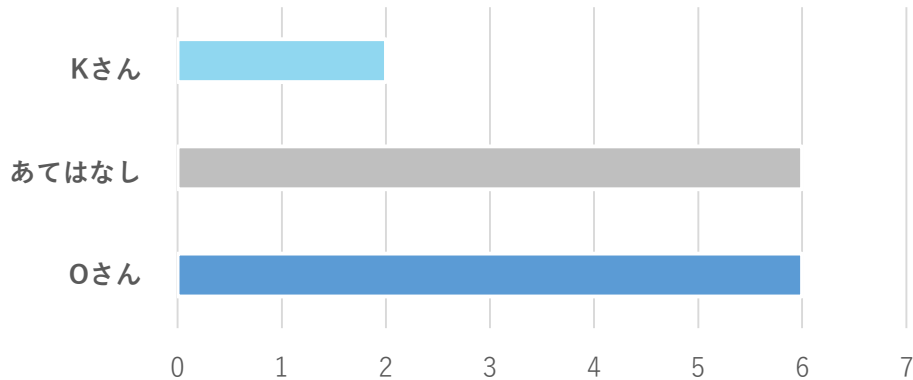
## その②\_\_ 用具の依頼について

### 用具の依頼先

#### これまで



#### これから



#### これまで

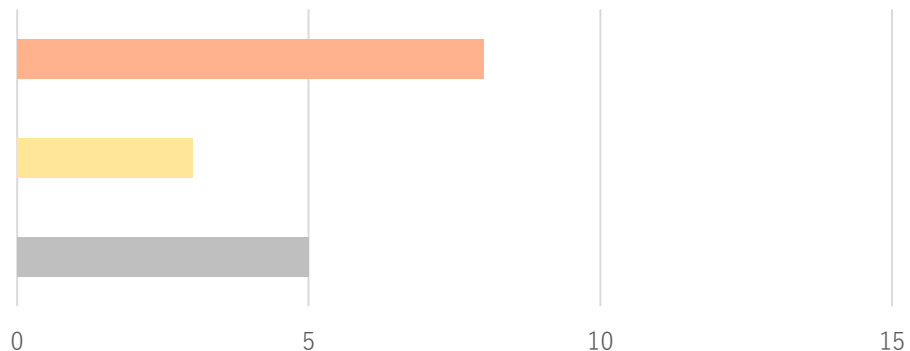
- ・これまではYさんに頼んでいたという方が多かった
- ・一方で、最後に依頼したのは先代。自分の代になって簀の編み変えや桁の修理を頼んだことはないという職人も。

#### これから

- ・簀はOさんへ依頼するという職人が多かった
- ・桁はあてがない⇒県外で探すという回答が多かった
- ・桁の値段も昔（最後の注文時）から随分高くなっているという認識
- ・注文も数年待ちになることがあり慎重な姿勢（簀の編み変えなど職人不足よりも**材料不足**という見解も）

{ =主な意見

用具の修繕で困っていない理由



### ● 壊れる頻度が少ないから

- ・20~30年は使える桁は、丁寧に使えば故障の心配なし
- ・簀の編み変えの注文も急ぐものではない  
=10年に1度くらいの頻度  
(日々のメンテナンスは自分でできている)

### ● ストックがあるから

- ・複数の桁を所有しているため、壊れても  
買い換える想定はない

### ● その他

- ・紙の博物館の貸出し簀桁を使っている
- ・簀、桁ともに注文のあてがある (頻度も少ない)

## 結果

▶ 緊急性は低い